

2020年に向けて、打つべし！

あしたのためにその1 (おもてなし・交流/スポーツ・健康)

予算額(新規・拡充)

19,490千円(オリパラ気運醸成事業)

0千円(語学ボランティア登録支援事業)

問合せ

オリンピック・パラリンピック準備室長 岐部靖文
内線5460

スポーツ・学習課長 大野 勝 内線5490

高齢者福祉課長 福田 純子 内線3410

墨田区×「あしたのジョー」 [7,000千円]

本区も物語の舞台とし、今年連載開始50周年を迎える漫画「あしたのジョー」(原作:高森朝雄・ちばてつや)とタッグを組みPRキャンペーンを展開する。

シティードレッシング等

のぼり旗、卓上ののぼり旗等に起用

(画像はイメージです。
実際とは異なります。)



「あしたのジョー」は連載開始から50周年！

©高森朝雄・ちばてつや/講談社

スポーツによる気運醸成 [10,000千円]

10月を「スポーツ月間」と位置付け、区民が気軽にスポーツを楽しむようなイベントを行うことで、スポーツ実施率向上や健康増進につなげる。

ボクシング普及啓発

ボクシング体験教室・選手との交流



全員参加で地域協議会の運営 [2,490千円]

「オールすみだ」で、「すみだならでは」の取組を推進する。また、未来枠に参画する若い世代には、マラソン大会の検討等、本区の活性化に資する取組についての自由闊達な意見交換を促すほか、気運醸成に資する取組への支援を行う。

地域協議会の運営

すみだのオリパラ
=(ボクシング+両国+相撲+隅田川)×つながり



語学ボランティア登録支援事業[0千円]

本区で実施する日本語学習支援事業で学んだ外国人から、語学ボランティアとして活動したいと申し出を受け、活躍に向けた情報提供などの支援を行う。



2020年に向けて、打つべし！

あしたのためにその2 (文化・観光・産業/教育)

予算額 (新規・拡充)
50,909千円(北斎交流)
45,000千円(すみだ地域ブランド戦略の推進「ものづくりコラボレーション事業」)
4,000千円(障害者アート振興事業)
11,700千円(オリンピック・パラリンピック教育の推進)
8,000千円(台東区との連携事業)

問合せ
文化芸術振興課長 南部 友孝 内線5451
障害者福祉課長 杉崎 和洋 内線3361
産業振興課長 中山賢治 内線5431
観光課長 佐久間 英樹 内線5481
教育委員会事務局指導室長 横山圭介 内線5140

北斎交流(再掲)

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機とし、「すみだ」が持つコンテンツ“北斎”を通じて展開する海外交流・地域交流を行う。

- 1 海外交流
欧米美術館との交流促進
- 2 地域交流
「隅田川 森羅万象 墨に夢(すみゆめ)プロジェクト」の継続・拡充実施
- 3 文化芸術振興のあり方検討



障害者アート振興事業[4,000千円]

東京2020参画プログラムに登録し、下記のイベントを実施(予定)

- 1 ワークショップの開催
葛飾北斎の様々な画風や視点を取り入れたワークショップの開催
- 2 すみだ北斎美術館での作品展示
ワークショップの参加者を中心に作品を展示



地域ブランド戦略の推進「ものづくりコラボレーション事業」(再掲)

東京オリンピック・パラリンピックを契機とした 新プロジェクト(すみだコンテナラリー)の実施



台東区との連携事業(再掲)

昨年10月に締結した連携協定に基づき、両区の観光資源等を更に連携させ、有効活用を図る。競技大会等に向け、更なる観光誘客に両区一丸となって取り組んでいく。

- 1 明治150年記念事業「(仮)江戸を守った男たち」
- 2 (仮)池波正太郎が描いた江戸巡り
- 3 隅田川両岸でのイベント連携



オリンピック・パラリンピック教育の推進[11,700千円]

オリンピックの歴史・文化・国際親善理解、アスリート等の招聘
学校にオリンピック・パラリンピアン等と子どもとの直接的な交流活動の希望を聞き取り、講師として招聘する。



2020年に向けて、打つべし！

あしたのためにその3 (まちづくり・環境)

予算額(拡充)
1,125,619千円(競技会場周辺整備)
10,214千円(両国グランドデザイン)
2,000千円(両国リバーセンター
の整備)

問合せ

道路公園課長	齋藤 雄吉	内線5051
都市計画課長	武井 勝人	内線3901
観光課長	佐久間 英樹	内線5481
都市整備課長	天海 晴彦	内線3911
子育て支援総合センター館長	村田 里美	5630-6351

整備内容

(1) 東京オリンピック・パラリンピック競技会場周辺整備(拡充)

(平成31年度事業完了予定)

- ・ 墨6号、7号、10号、106号路線
電線共同溝整備工事 [595,619千円]
- ・ 墨7号、墨106号路線道路景観整備工事 [180,000千円]
- ・ 国技館通り道路景観整備工事 [350,000千円]

(2) 両国駅周辺のまちづくり(両国GD)

① 両国観光まちづくりグランドデザインの推進[5,014千円]

エリア懇談会や地域連絡会でワークショップ等を積み上げながら、地区ごとの特性に応じた観光まちづくりを推進する。

② 歴史説明板の設置[5,000千円]

立川第二児童遊園(安兵衛公園)内に地域の歴史を紹介する歴史説明板を設置するなど、両国地域の回遊性の向上を図る。

③ 地域の既存イベントへの協力[200千円]

エリア懇談会、地域連絡会を通じて地域の意見を集約し、既存イベントの充実を図る。

(3) 両国リバーセンターの整備[2,000千円]

両国地区において、ホテルやレストラン、水上バス待合所、両国子育てひろば等を有する複合拠点施設を整備するとともに、水上ルートの拡大やスーパー堤防の整備等、防災機能の強化を図る。

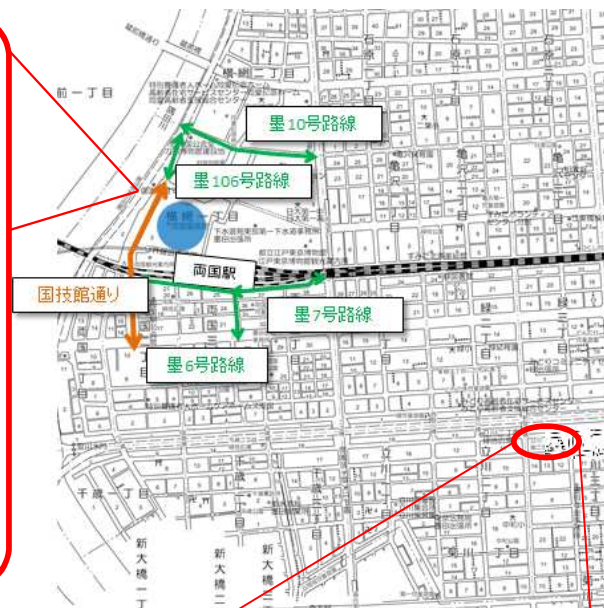
東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて新たなにぎわいを創出

■事業箇所図

■両国リバーセンター (複合拠点施設)(イメージ)



住 所 横網1-2-15ほか
建築面積 約1,200㎡
階 数 地上9階/地下0階



■歴史説明板の設置(イメージ) 立川第二児童遊園(安兵衛公園) (立川3丁目)に設置予定

